

ERPソリューションにより基幹システムを刷新 製販在の見える化と在庫の適正化を実現

赤城乳業株式会社 様

食品製造業 350名 規模

アイスキャンディー「ガリガリ君」でお馴染みの赤城乳業株式会社。昭和36年の設立以来、半世紀以上にわたり国民に愛される氷菓・アイスクリームの製造、販売を行っています。同社では2014年、各部門に分散していた基幹システムをNTTデータ ウェーブのERPソリューションにより統合。製販在の見える化を実現しました。このERP導入プロジェクトについて、経緯や効果などの話をお聞きました。



Point 1 分散していたシステムをERPソリューションで統合することで、属人化を排し、製販在の見える化を実現。

Point 2 食品業界にとって大きな課題の1つである在庫の適正化にERPソリューションが効果をあげる。

Point 3 選定のポイントはNTTデータ ウェーブの親身な対応。クイックレスポンスでより良い形での提案を実行。

各部門にシステムが分散 見える化、最適化が課題に

赤城乳業の社内でIT委員会と呼ばれるプロジェクトが立ち上がったのは2010年7月。同社では商品の開発から製造、在庫、販売までをすべて自社で行っていますが、それらの基盤となるITシステムについての課題や問題点を話し合うための委員会でした。

「当時のITシステムは各部門が独自に構築、運用を行っていたため、データベースが統合されておらず、インターフェイスもバラバラでした。これを見直さなければと考えました」と話すのは、赤城乳業株式会社財務本部 情報システム部部長の吉橋高行氏です。2011年3月には、すべての基幹システムの抜本的な見直しが決定されました。

当時、分散していたシステムにはさまざまな問題がありました。

「基幹システムのコアとなっていた生産管理システムは、スクラッチで開発したもので、事業の拡大にあわせ拡張を繰り返してきました。将来的なことを考えると、このシステムのままでは対応しきれなくなると想定されました」と吉橋氏は説明します。

その他にも、一部のシステムではトランザクションが増えると処理が追いつかず、動作が不安定になる課題もありました。さらに、各部門でシステムを運用していたため、保守やメンテナンスもそれぞれ個別に行わなければならないという状況も改善が必要でした。

こうしたシステム側からの課題に加え、現場からはプロセスに対する課題があがりました。「当社は受注型生産ではなく見込み型生産ですので、情報収集・分析することで需要を予測し、それをもとに製造から在庫、販売までのプロセスを最適化していきます。しかし、システムが分散していることで、横断的な統合された情報を得られず、その部分を属人的な判断や経験でカバーしていました」と吉橋氏は説明します。赤城乳業が新たな市場に投入する商品は年間200種近くにおよびます。これら多種多様な商品の製造から在庫、販売プロセスをシステム化、そして最適化することが課題となっていたのです。

一方で、経営側からはシステムの見える化、内部統制の徹底、事業継続への取り組みなども求められていました。



赤城乳業株式会社

創業昭和6年。「赤城しぐれ」や「ガリガリ君」といった大ヒット商品で知られる冷菓専門メーカー。埼玉県深谷市の本社、工場の他に、全国に9つの支店を構え、2010年には埼玉県本庄市に日本で最大規模のアイスクリーム生産工場である、本庄千本さくら「5S」工場を竣工。提供する商品の「品質と安全」に、全社をあげて取り組んでいる。企業スローガンは「あそびましょ。」遊び心を忘れないワクワクするようなアイスで世の中を楽しんでいく。



本庄千本さくら「5S」工場

資本金：7億7千万円
社員数：373名
売上高：405億円(2015年12月現在)
代表者：代表取締役社長 井上創太
URL：<http://www.akagi.com/>

赤城乳業株式会社
財務本部 情報システム部部長
吉橋 高行氏

パートナー選定のポイントは対応力 SAP導入で基幹システムの 刷新を提案

現場の現状分析からシステムやプロセスの課題を洗い出し、システムのあるべき姿を議論し、2011年末からは具体的なシステムの選定フェーズに入りました。各SIerやベンダーにRFI、RFPを提出し、プレゼンテーションを実施してもらいました。そして、最終的に「SAP ERP」を中心としたERPソリューションを提案したNTTデータ ウェーブを今回のパートナーに選定しました。

「選考は、フィットギャップの分析から始まり、最終的には“対応”という部分をもっと重視しました。NTTデータ ウェーブの提案は、細かいところまで対応してくれており、とても優れたものでした。選考の中で不明点がある時にも、NTTデータ ウェーブはクイックレスポンスで対応し、一番親身になってくれました」と吉橋氏は話します。

2012年3月、正式にNTTデータ ウェーブの提案が採用され、実際の導入がスタートしました。

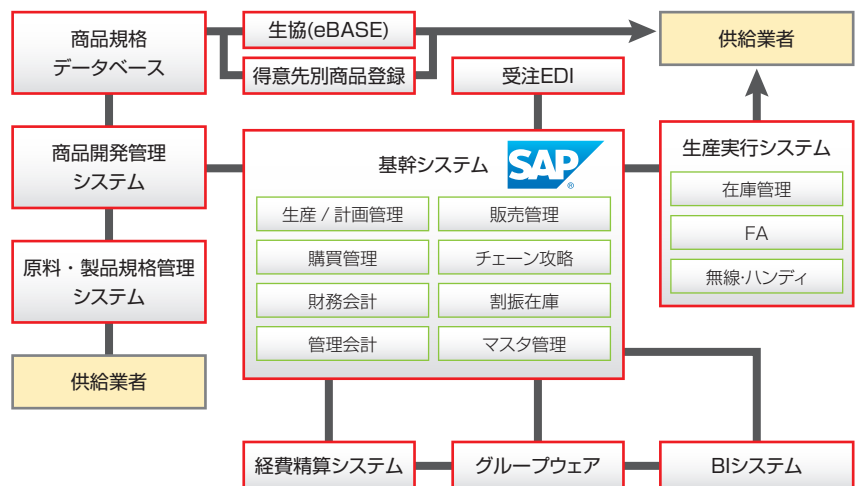
今回のプロジェクトでは、基幹システムにSAPを導入し、生産／計画の管理から販売、購買管理、財務・管理会計までを統合します。生産実行系の在庫管理システムや商品開発システムもSAPと連携させることで、開発から製造、在庫、販売、会計までおよぶすべての基幹システムを一気通貫で管理・運用できるシステムを実現しました。

システムの統合にあたっては、従来バラバラだった品目マスターも統合。吉橋氏は、「マスターデータの統合は大変苦労しました。メンテナンスをするシステムを別で作成し、マスターの投入フローを整理しました」と振り返ります。

製販在の見える化を実現 在庫の適正化も進めていく

新システムの開発が始まったのは2012年の10月です。「大きなトラブルもなく、想定通りスムーズに導入ができました。事前にしっかり

■システム構成



とNTTデータ ウェーブが手順を作ってくれましたし、実作業においても手厚いサポートをしてくれたおかげだと思っています」と吉橋氏は話します。さらに、スケジュールや成果物管理についても、NTTデータ ウェーブを高く評価しています。

8ヶ月にわたる開発の後、結合テスト、統合テストを経て、2014年1月に新システムの運用を開始しました。

吉橋氏は今回の導入の効果について、次のように説明します。

「従来のシステムは不安定な部分がありましたが、新システムはとても安定しています。これが第一の効果ですね。他にも製販在の見える化を進めることができました。プロセス全体を見える化できたので、今後の製造、販売計画などにも良い効果を与えてくれると思います」

赤城乳業の主力商品である氷菓・アイスクリームの販売ピークは夏ですので、在庫は夏前から夏シーズンに集中します。「在庫の適正化は食品業各社の大きな課題の1つですが、当社はピークが偏っている分、適正化がより重要になっています。SAPを導入したことで在庫の適正化をますます進めることができます」と吉橋氏。

経営面での課題であった内部統制への対応も、セキュリティの強化でしっかりと担保し、また、インフラの冗長化により事業継続への取り組みも進めることができました。

新システムは安定稼働 今後はSAPの活用を拡大

新システムは、運用開始後、大きな問題もなく安定稼働しています。NTTデータ ウェーブは、引き続き、細かいインシデント対応なども含めたサポートを続けています。

運用開始当初は、変更後のユーザーインターフェイスが慣れないという声もあがっていましたが、最近では「こんな機能があって便利だ」という現場からの声もあがりはじめました。「すでにシステムの理解フェーズに入ってきています。これから活用フェーズに入ると、ますます効率化、最適化が進んでいくと思います」と吉橋氏は期待を寄せます。

今後の展望について吉橋氏は「基幹系のリプレースはほぼ終わりましたねとよく言われますが、それは構築側の見方です。ユーザー側からすると2014年にSAPが導入されて、これから伸ばしていく、活用していかなくてはなりません。そうした伸びしろのあるシステムとしてSAPを選びました。まだスタートしたばかりで、活用できていないモジュールもたくさんあります。これからSAPを使い倒して、活用していきます」と話します。

NTTデータ ウェーブでは今後も、拡大していく赤城乳業のビジネスを支える基幹システムを支援していきます。

株式会社NTTデータウェーブ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-14-5 千駄ヶ谷インテス
Tel: 03-6833-5912 Fax: 03-5770-2626
<http://www.nttd-wave.com/>

※本リーフレット掲載の製品の名称およびロゴはそれぞれ各社が商標として使用している場合があります。
※ガリガリ君、赤城しくれは、赤城乳業株式会社の登録商標です。
※SAPは、SAP AGのドイツ及びその他の国における登録商標または商標です。